

(第三種郵便物認可)

**競争を生き抜く代理店**

(株)日本シンクタンク 代表 取締役 那須顯一

< 44 >

TEL06-6282-6488(代)  
<http://www.i-thinktank.com/>

## 何が本当に安全で必要か

ぎりぎりで守られている我々の安全

去る3月11日に発生した、東日本大震災にて、被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げます。

この地震は、津波も伴い、「気の家族」を失くされた家屋や家財を失くされた方が多数おられ、自身の命は助かっても職場や取引先も壊滅状態。まさに先の見えない状態とはこのことなのかもしません。

また、これを被災された同業者の立場で考えると、自身や仕事の仲間は助かつても、契約企業や個人契約者の多くの方々が被災、またはお亡くなりになられ、保険契約の対象となる事業、車、建物、動産はほぼ喪失状態なので、これまでの契約の維持、ましてや新規契約の獲得などは不可能な状況ですから、もう既に売り上げがゼロ…たちまち給料やいろいろな支払いで困る状況でしょう。

16年前の阪神淡路大震災を間近で経験した私からしても、今回の東日本大震災は被害規模が比較にならないほど大きいため、復興までどれだけかかるかわからない中ではありますが、微力ながら私もできるだけのお手伝いをして行こうと考えております。

今回の震災では、福島原発も被災、日々危険で高濃度な放射能漏れが報道され、いろいろな対策をとっているにもかかわらず、日を追うごとに危険度が増している状況です。原発被災当初から、全く検証資料などが示されず、行き当たりばつたりで、「計画停電」が当たり前のよう進められたことに、私は強い違和感を感じました。

なぜなら、本来供給しなければならない世帯(住居)も、震災で多数が失われ電気の「需要」 자체が減少、夏場のピークでもない中、福島原発が稼働できないだけで、果た

# 今回の大地震を教訓に考える」と

頑張ろう日本

いかにわれわれ。プロがその被害の  
甚大さを真摯に伝えられるか

## 多かった地震保険に関するご質問

保険の重要性、事態が起きてからでは遅すぎることを実感

要でリストアップしてお客様がお書きなさいまでは、われわれはしてくの性をある種の感動を盛り込もうとしています。今社長はまだお話をされないといふことはあります。

お言葉や  
感じのほうです。  
感動のエ  
ピソード  
を発表し  
あい、情  
報の共有  
とともに  
案できるか？ ご加入  
スクを未然に防げること  
が第一ですが、起きてこ  
まつたときごとのくらい  
対応力がある保障をご提  
案できるか？ ご加入い  
知識とし  
てもイン  
っていま  
ナを張り真摯じに相談し  
り保険の給  
取り組んでまいります。

クの重要性を伝えは、お客様が想定し得な  
る義務がありま。明、実例エピソードをい  
ふつお伝えできるか？

相談員としての心構え

今社内では、お客様からい  
ただいたいしんではないといふ  
そのための情報収集と知  
識を得るために努力を惜  
しません。

お客様を  
れる方、生命保険の相談  
れぞれの  
お考えは 災害保険の証券もご持参の  
あると思 うえ質問される方が増え  
いますが、たのだと感じます。でも  
われわれ やはり事態が起こってか  
はプロと らの提案では遅すぎるの  
してリス  
です。

説明をし、実際に、今回のような地震による大規模な被害を目の当たりにして日本中の人が恐怖と不安を要です。感じました。その結果、リスクに冒頭の保険相談ショップに対しても、この地震保険の相談へ来る

いただいた保障内容で力  
の同じこと  
します。  
保険範囲に  
バーアーまでいた事例や、加入  
時にお客様に合った保険  
を一生懸命選び、説明し  
きるわけ  
感謝されたケースなどれ  
から、じ  
まわります。